

卓球用具の輸出

2025年 卓球用具 輸出数量・金額は、
全国・近畿圏ともに過去最高！



1.はじめに

卓球は老若男女問わず楽しめる国民的スポーツの一つです。その歴史は古く、1902年にヨーロッパから卓球用具が持ち込まれたのが始まりとされ、1988年のソウル五輪からは卓球が正式競技となりました。国内でも2018年に卓球プロリーグであるTリーグが開幕し、盛り上がりを見せています。そこで本特集では、卓球用具の輸出について調査しました。

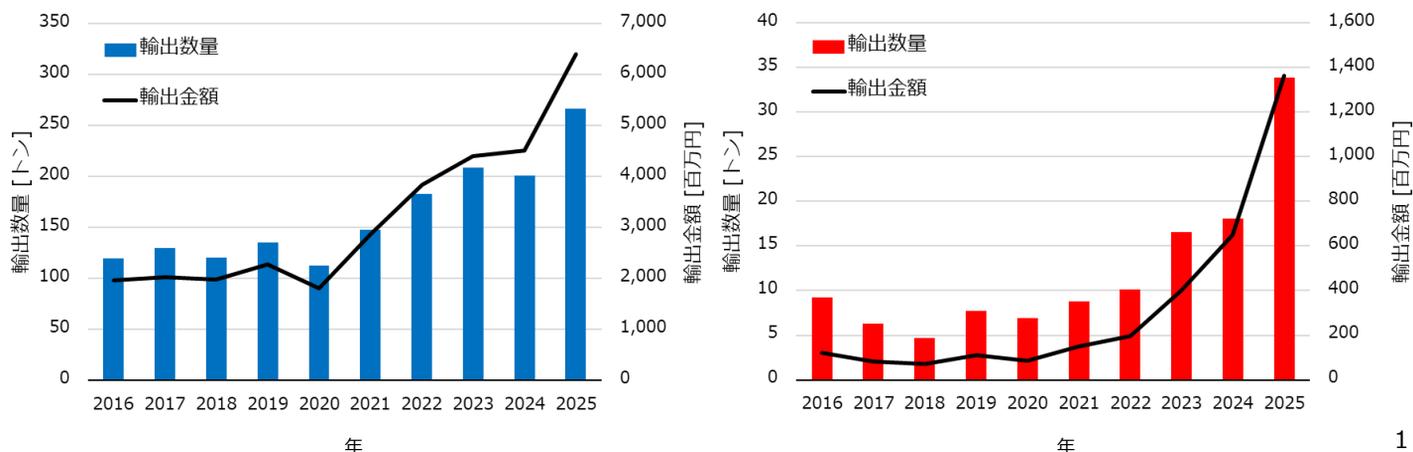
2.本特集における卓球用具

本特集における「卓球用具」は輸出統計品目表で「9506.40-000」に分類されるものを集計しています。例えば、ラケット、ボール、ネット、卓球台等が含まれます。

3.輸出数量及び輸出金額の推移

2025年の輸出数量は全国で267トン（前年比 約1.3倍）、近畿圏で34トン（前年比 約1.9倍）です。2025年の輸出金額は全国で64億円（前年比 約1.4倍）、近畿圏で14億円（前年比 約2.1倍）です。全国・近畿圏ともに2025年の輸出数量・金額が過去最高となりました。また、近畿圏の輸出金額は5年連続で過去最高を更新しています。業界の話によると、輸出増加の要因として、日本人選手の世界的な活躍により、日本の卓球用具メーカーへの注目度が上がったことが挙げられます。

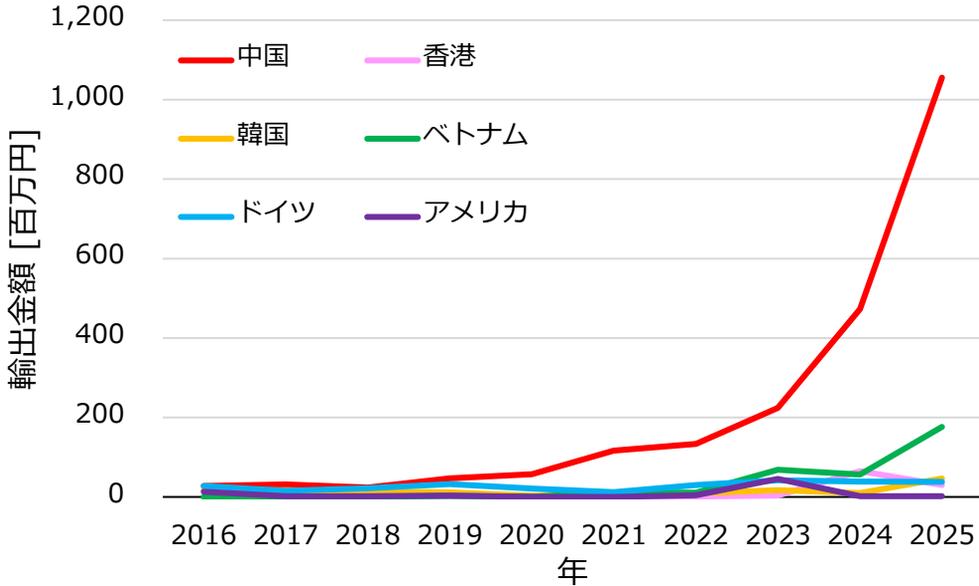
卓球用具の輸出数量及び輸出金額の推移（左：全国、右：近畿圏）



4. 近畿圏における国別輸出金額の推移

国別に見ると、近畿圏から中国への輸出金額は2016年から10年連続で第1位です。また、2019年から7年連続で過去最高を更新し続けており、特に2024年以降の伸びが顕著です。業界の話によると、日本製の卓球用具は中国国内で人気が高く、需要が伸びているそうです。ベトナムへの輸出金額も、コロナ禍以降は増加傾向です。業界の話によると、海外に現地法人をもつ卓球用具メーカーもあるそうです。

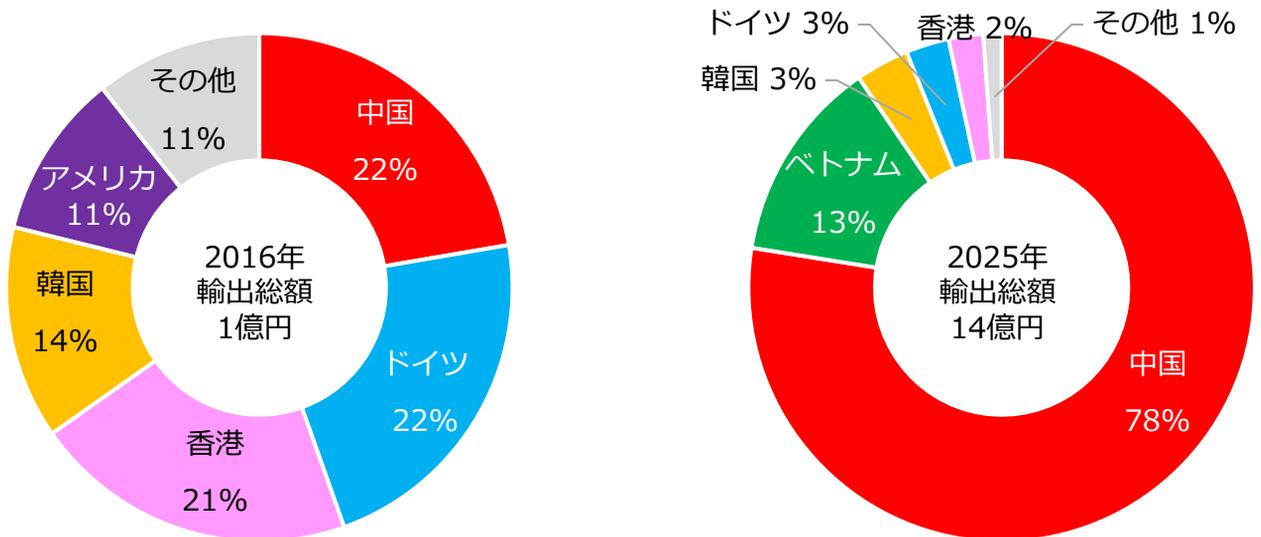
近畿圏における卓球用具の国別輸出金額の推移



5. 近畿圏における輸出金額の仕向国内訳

近畿圏における輸出金額の割合は、2016年は中国、ドイツ、香港向けが約20%で並んでいました。2025年は、中国向けが約80%と大幅に増加し、次いでベトナム向けが約10%となり、アジア向けの輸出が大半を占めるようになりました。

近畿圏における卓球用具の輸出金額の仕向国内訳



6.輸出金額の港別順位

港別に見ると、2016年の輸出金額は首都圏の港が第1位から第3位までを独占していました。近畿圏の大阪港は9,086万円です。2025年は東京港の第1位は変わりませんが、関西空港が12億4,625万円です。大阪港が1億1,469万円です。近畿圏の輸出金額は全国の21%を占めています。

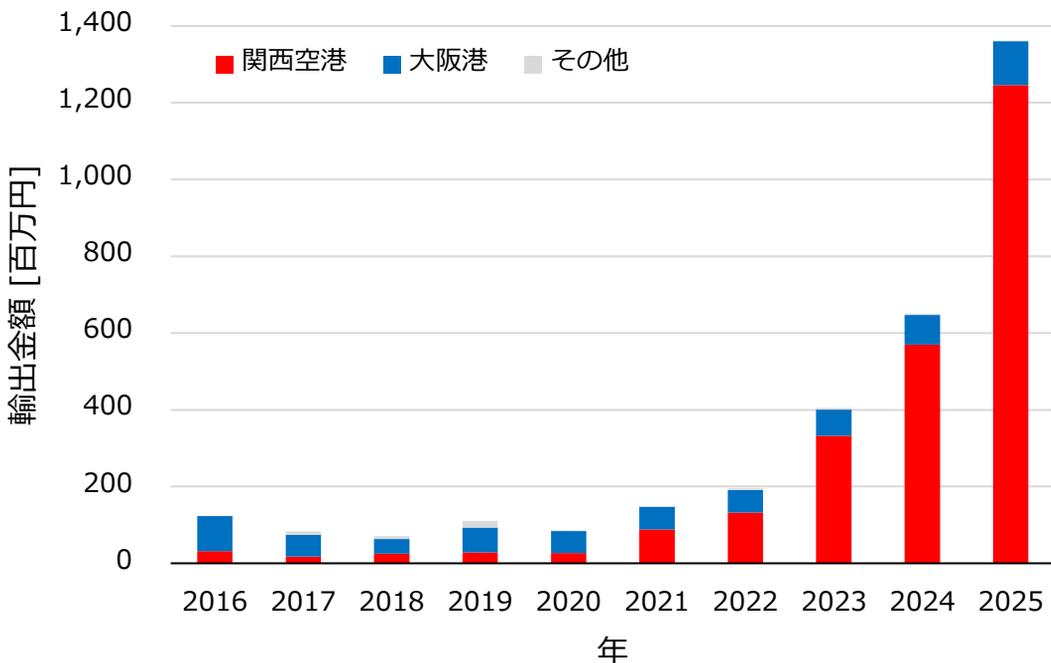
卓球用具の輸出金額の港別順位

順位	2016年		2025年	
	港名	金額[百万円]	港名	金額[百万円]
1	東京港	1,362	東京港	4,182
2	成田空港	293	関西空港	1,246
3	横浜港	146	成田空港	494
4	大阪港	91	横浜港	343
5	名古屋港	32	大阪港	115

7.近畿圏における港別輸出金額の推移

近畿圏では、2016年の輸出金額は大阪港が第1位、次いで関西空港が第2位でした。2021年には関西空港が大阪港を上回り、第1位となりました。その後も関西空港の輸出金額は増加し続け、2022年に1億円を突破し、2025年には10億円を超えました。業界の話によると、日本から距離の近い国への輸出は航空便を使うことが多いそうです。

近畿圏における卓球用具の港別輸出金額の推移



8.まとめ

本特集では、卓球用具の輸出について調査しました。2025年の卓球用具の輸出数量及び金額は、全国・近畿圏ともに過去最高となりました。近畿圏の輸出金額は5年連続で過去最高を更新しています。輸出増加の要因として、日本人選手の世界的な活躍により、日本の卓球用具メーカーへの注目度が上がったことが挙げられます。国別に見ると、近畿圏からの輸出はアジア向け、特に中国向けが急増しています。港別に見ると、近畿圏では関西空港からの輸出が急増しています。海外で日本製の卓球用具の評価は高く、需要が安定しているため、今後も輸出増加が見込まれるそうです。

9.データ集

★輸出数量及び輸出金額の年別推移（全国、近畿圏）

全国					近畿圏				
年	数量 [トン]		金額 [百万円]		年	数量 [トン]		金額 [百万円]	
		前年比		前年比			前年比		前年比
2016	119	76.6%	1,958	80.7%	2016	9	109.8%	123	111.1%
2017	130	108.6%	2,023	103.3%	2017	6	67.9%	83	67.2%
2018	121	93.0%	1,981	97.9%	2018	5	74.0%	71	85.6%
2019	135	112.1%	2,277	114.9%	2019	8	165.6%	111	155.9%
2020	113	83.2%	1,796	78.9%	2020	7	89.1%	86	77.5%
2021	148	131.3%	2,870	159.8%	2021	9	128.4%	150	175.1%
2022	183	123.6%	3,840	133.8%	2022	10	114.3%	195	130.3%
2023	208	114.2%	4,394	114.4%	2023	17	164.1%	405	207.1%
2024	200	96.1%	4,508	102.6%	2024	18	109.2%	650	160.6%
2025	267	133.1%	6,397	141.9%	2025	34	187.4%	1,362	209.5%

★仕向国別輸出金額の年別推移（近畿圏）

年	韓国		中国		香港	
	金額 [百万円]	前年比	金額 [百万円]	前年比	金額 [百万円]	前年比
2016	17	169.6%	28	121.4%	26	96.3%
2017	17	101.8%	32	114.5%	3	12.7%
2018	14	84.0%	24	75.2%	1	23.1%
2019	12	80.8%	47	198.1%	—	全減
2020	3	27.3%	57	121.9%	2	全増
2021	6	179.6%	117	204.3%	1	47.8%
2022	9	154.7%	133	114.1%	1	155.2%
2023	17	195.6%	224	167.7%	4	261.2%
2024	10	59.7%	473	211.2%	65	1746.8%
2025	47	455.3%	1,055	223.4%	30	46.0%

年	ベトナム		ドイツ		アメリカ	
	金額 [百万円]	前年比	金額 [百万円]	前年比	金額 [百万円]	前年比
2016	—	—	27	123.2%	13	161.6%
2017	—	—	15	55.3%	2	16.6%
2018	0	全増	22	144.5%	2	76.7%
2019	3	994.9%	33	148.4%	3	199.5%
2020	0	9.5%	21	64.5%	0	11.1%
2021	11	4712.1%	12	58.0%	—	全減
2022	10	92.1%	30	247.2%	5	全増
2023	69	657.6%	42	139.8%	45	966.1%
2024	56	82.1%	39	91.9%	2	4.6%
2025	176	313.6%	38	97.5%	2	79.0%

★港別輸出金額の年別推移

年	関西空港		大阪港		名古屋港	
	金額 [百万円]	前年比	金額 [百万円]	前年比	金額 [百万円]	前年比
2016	32	106.8%	91	136.1%	32	99.5%
2017	17	53.6%	57	62.3%	7	22.0%
2018	25	144.5%	38	67.2%	25	349.2%
2019	28	114.0%	65	170.4%	17	68.5%
2020	27	93.5%	58	89.0%	20	116.8%
2021	88	331.7%	59	102.2%	1	5.3%
2022	133	150.8%	59	100.1%	2	218.8%
2023	332	250.5%	68	116.1%	2	65.1%
2024	570	171.7%	77	112.4%	0	22.7%
2025	1,246	218.6%	115	149.1%	13	3877.6%

年	東京港		成田空港		横浜港	
	金額 [百万円]	前年比	金額 [百万円]	前年比	金額 [百万円]	前年比
2016	1,362	75.2%	293	100.4%	146	94.7%
2017	1,300	95.4%	407	139.0%	220	151.1%
2018	1,487	114.4%	208	51.1%	188	85.6%
2019	1,759	118.3%	251	120.8%	131	69.4%
2020	1,386	78.8%	137	54.7%	143	109.7%
2021	2,205	159.1%	239	174.0%	274	191.0%
2022	2,914	132.2%	442	185.1%	280	102.3%
2023	3,144	107.9%	426	96.3%	408	145.5%
2024	2,999	95.4%	506	118.9%	303	74.3%
2025	4,182	139.4%	494	97.6%	343	113.4%

注釈

- ※1 2025年は確々報値、2024年以前は確定値です。
- ※2 本特集における近畿圏は大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の2府4県です。
- ※3 港別の輸出金額は、その港を管轄する税関官署の輸出金額を集計したものです。
- ※4 成田空港の輸出金額は、東京航空貨物出張所及び成田航空貨物出張所の合計です。
- ※5 輸出金額はFOB価格で集計しています。
- ※6 表示単位未満は四捨五入、「0」は単位に満たないもの、「-」は実績なしのものを指します。
- ※7 本資料における過去最高は1988年以降の比較です。
- ※8 本資料を他に転載する際は大阪税関の資料に基づく旨を注記してください。
- ※9 本資料に関するお問い合わせは大阪税関調査部調査統計課までお願いします。
(☎ 06-6966-5385)

